

## 島田市原子力災害広域避難計画（骨子）を公表

☎危機管理課 36・7320

市では、中部電力浜岡原子力発電所（御前崎市）の重大事故を想定した「島田市原子力災害広域避難計画（骨子）」を公表しています。

この計画は、3月30日に静岡県が公表した「浜岡原子力災害広域避難計画」の内容を踏まえたものになっています。市広域避難計画では、避難想定を市内全域とし、対象を全戸約3万6000世帯、全人口約10万人としています。事故が起きた際には、市内12カ所の空間放射線量率の

観測値に基づき避難対象区域が指定され、段階的に避難することとしています。

今後は、今年度中に住民説明会の開催と原子力災害避難に関するパンフレットの配布を予定しています。広域避難計画の詳細については、ホームページをご覧ください。また、原子力災害時の準備と対応を分かりやすく解説したDVD「こんな時どうする？」の貸し出しを行っていますので、ぜひご利用ください。

☐ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kikanri/hnankekaku.html>

## 川根小学校区放課後児童クラブが開所しました

☎子育て応援課 36・7159

4月7日、川根地区センター「ちやくら」で川根小学校区放課後児童クラブ開所式が行われました。

川根地区では、これまで川根児童館で放課後児童クラブを補完する「かわねっこ友遊ひろば事業」が実施されてきました。同児童クラブの開所により、全ての市内小学校区において、放課後児童クラブが利用できるようになりました。

この児童クラブは、地区センター内に設置されることから、地域住民との交流も期待されます。



クラブの開所を楽しみに待つ子どもたち

## 市の魅力を伝える英語版電子書籍が完成

☎広報課 36・7355

市では、外国人向けに市の魅力を伝える英語版電子書籍「Enjoy! SHIMADA」を作成しました。

この電子書籍は、市内在住などの外国人11人の協力のもと、茶工場巡り体験や市内観光施設・飲食店の情報を掲載。外国人の目線から見た島田市の魅力をPRしています。また、観光施設ホームページや最寄り

のWiFiスポットも検索できます。  
☐ <http://www.city.shimada.shizuoka.jp/kouhou/enjoy-shimada-shizuoka.html>



## WiFiでインターネット接続できる施設が20カ所に

☎観光課 36・7163

市では、蓬萊橋や大井川鐵道新金谷駅、川根温泉など、新たに11カ所に公衆無線LANの環境（WiFi）を整備し、来訪者の利便性向上に取

り組んでいます。今回の整備により、民間施設などを含め市内20カ所で、WiFiによるインターネット接続が自由に行えるようになりました。WiFi利用可能施設は、次のとおりです。

### 施設名

- 蓬萊橋（番小屋）
- 川根温泉 ふれあいの泉
- 田代の郷温泉 伊太和里の湯
- ばらの丘公園
- 川根文化センター チャリム 21
- 島田市博物館（本館）
- 島田市博物館（分館）
- 伊久身農村環境改善センター やまびこ
- 北部ふれあいセンター たちばな
- 大津農村環境改善センター 山王
- こども館
- 島田図書館（2階）
- 六合公民館 ロクティ
- 初倉地域総合センター くらら
- 初倉西部ふれあいセンター しろやま
- 山村都市交流センター ささま
- 島田駅前観光案内所
- 金谷駅前観光案内所
- 大井川鐵道新金谷駅
- プラザロコ

## 二人の門出に島田市オリジナルの「結婚記念証」を交付

☎市民課 36・7194

市では4月5日から、婚姻届を提出した人に「結婚記念証」の交付サービスを開始しました。

記念証は、A4版二つ折りで、2人の名前や婚姻日を記入する欄と記念写真を貼る欄があります。また「お二人が共に歩む人生が素晴らしい道でありますよう心よりお祈りしております。ご結婚おめでとうございます」と結婚を祝福するメッセージが添えられています。

交付第1号は、小西佳樹さんと麻理さん。婚姻届を提出をした後、

記念証を持って、市民課に設置されたインタビュボード前で記念撮影をしました。



「結婚記念証」を持って記念撮影

## 市民団体がまちづくりの実践活動を報告

☎協働推進課 36・7402

市は、島田市総合計画に掲げる「協働のまちづくり」を推進するため、まちづくりに積極的に取り組む団体に対し、交付金を交付しています。

4月17日には「平成27年度まちづくり支援事業交付金」の交付を受けて活動した団体による事業報告会が開催されました。報告会には、14の市民団体などが参加し、昨年度に実施した活動やイベントなどを発表。報告会後の交流会では、団体同士の情報交換が活発に行われました。



まちづくりの実践活動を発表

## 「広報しまだ」が内閣総理大臣賞を初受賞

☎広報課 36・7118

公益社団法人日本広報協会は、5月10日に平成28年全国広報コンクールの審査結果を発表しました。「広報しまだ11月号」は、広報紙(市)部門で最優秀賞の「特選」を受賞。さらに、10部門の特選の中から一点のみに与えられる最高賞の「内閣総理大臣賞」を受賞しました。

このコンクールは、全国の自治体が昨年中に発行した広報紙・掲載写真、公開した広報映像などを対象とし、表現力や企画力、デザイン性などが審査されます。

今年の応募作品数は503点。静岡県内の団体が内閣総理大臣賞を受賞するのは、34年ぶりとなります。同コンクール入賞も5年連続となる広報しまだは、滋賀県大津市で開催される「第53回全国広報広聴研究会」において表彰されます。

今後も、市民の皆さんに親しまれ愛される広報紙づくりに励んでいきます。取材に伺った際は、ご協力をお願いいたします。

### 【審査員のコメント】

子どもたちの貧困を取り上げた特集は、「見ようとしなければ見えない」という視点に立ち、自治体広報にとって難しいテーマに挑戦し、この問題に対する住民の関心を掘り起こそうとした意欲作となっている。

### 広報しまだ全国広報コンクール受賞歴

| 受賞年   | 部門     | 結果 | 特集タイトル/企画内容       |
|-------|--------|----|-------------------|
| 平成24年 | 広報紙(市) | 1席 | ターミナル(終末期医療を考える)  |
| 平成25年 | 広報紙(市) | 特選 | このまちのピース(障害者アート)  |
| 平成26年 | 広報紙(市) | 3席 | ハグ(里親制度を考える)      |
| 平成27年 | 広報紙(市) | 入選 | アイデンティティー(難病を考える) |
| 平成27年 | 広報企画   | 入選 | 博物館で「リアル広報紙」企画展   |
| 平成28年 | 広報紙(市) | 内閣 | カクレンボ(子どもの貧困を考える) |



広報しまだ 11月号

全国・静岡県広報コンクール入賞号は、ホームページでご覧いただけます。

☎ <https://www.city.shimada.shizuoka.jp/kouhou/kouhoutop.html>